

二つの景色を
変幻自在に
研ぎ澄まされた類なき音色



彼の音楽を彼が弾く

館野泉

ピアノ・リサイタル

2024.
11.4 (月・休) 14:00開演
13:30開場 16:00終演(予定)

東京文化会館小ホール

2:00p.m., Monday, November 4, 2024 at Tokyo Bunkakaikan Recital Hall

全席指定 ¥6,500

※料金には消費税が含まれています。
※特別割引チケットにつきましては裏面をご覧ください。

6月1日(土) 前売開始 | ジャパン・アーツぴあオンラインチケット 5月25日(土) 10:00~

ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212 www.japanarts.co.jp

◎東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 ◎チケットぴあ t.pia.jp [Pコード:268-348]

◎イープラス eplus.jp ◎ローソンチケット l-tike.com [Lコード:33048]

Program

パブロ・エスカンデ:
ナイチンゲールと薔薇の花
(オスカー・ワイルド)

魔女の夜宴(ゴヤを描く)

Pablo ESCANDE:

The Nightingale and the Rose by Oscar Wilde

El aquelarre, Pintando a Goya

ピアノ: 館野泉 (Izumi Tateno)

朗読: 元田牧子 (Makiko Motoda)

平野一郎: 水夢譚(すゐむたん)

洋琴・笙・尺八・胡弓・琵琶・箏と打物に依るヤポネシア山水譜
HIRANO Ichirō: Suwi-mu-tan [WaterDreamHistory]

Yaponesian Soundscape for piano, shō, shakuhachi,
kokyū, biwa, koto and percussion

洋琴: 館野泉 (Izumi Tateno)

笙: 中村華子 (Hanako Nakamura)

尺八: 田野村聡 (Soh Tanomura)

胡弓: 木場大輔 (Daisuke Kiba)

琵琶: 久保田晶子 (Akiko Kubota)

箏(十三絃): 竹澤悦子 (Etsuko Takezawa)

打物: 池上英樹 (Hideki Ikegami)

「館野泉左手の文庫」助成による委嘱作・世界初演
(World Premiere, Dedicated to Izumi Tateno)

両手とか片手で弾くという次元を超越し、変幻自在の「音色の対位法」といわれる境地。
磨き抜かれ澄みわたる音色で切り取られた「ナイチンゲールと薔薇の花」に「魔女の夜宴」の世界。
悠然たる静かな強さと広大な風景に寄り添う「水夢譚」。不思議な眺めが広がる。

この11月10日で88歳になる。もはや立って歩行することは出来ず車椅子に頼らなければ動けないが、それでも今年は札幌から那覇まで全国縦断し、30公演をすることができた。感謝である。いつまでこの活動が出来るか、それは「神の味噌汁―かみのみぞしる」であるが、弾ける間は現役の活動を続けたいと思っている。今年のバースデーコンサートでは2つの委嘱作品を世界初演することになっている。といっても両作品が完成するのは秋になってからで、現段階ではどんな作品が生まれるのか分からない。作曲はパブロ・エスカンデと平野一郎の両氏にお願いし、快く引き受けていただいたので心配はしていないが、気候の変化も激しかった春先から酷暑が予想されているこの夏にかけての仕事になるので、産みの苦しみも並ではないと想像される。

ブエノスアイレス出身のパブロ・エスカンデにはこの10年間、毎年一曲の割りで作品を委嘱し、常に質の高く美しい作品を創作して頂いている。私が最も信頼し愛している作曲者のひとりでもある。アイデアも豊富で、一作ごとに新しい世界を創造してくれるので、その意味でも期待は大きい。前作の「Graffiti Area」では異色の画家Banksyの作品をテーマに据え、ヴァイオリンとピアノでスリングな世界を描きだしてくれたし、三手ピアノの連弾曲「音の絵」ではエッシャー「爬虫類」、ルソー「夢」、ゴヤ「砂に埋もれた犬」、カンジンスキー「空の青」などの絵画とも連動した美しくも多彩な世界を見せてくれた。

もし彼が大河ドラマの音楽を担当したらきっと素晴らしいものになるだろうという想いも後押しして、今回の委嘱になったのだが、私が提示したのはピアノ一台によるオペラのようなピアノ作品だった。そしてテーマはスペインの画家ゴヤ。それも宮廷画家としての華やかな時代でなく、40歳過ぎて尊者になり「黒の時代」という、まったく違う世界を亡くなるまで書き続けた執念の世界である。エスカンデはゴヤの他にもうひとつ、オスカー・ワイルドの「ナイチンゲールと薔薇の花」を作曲したいと希望した。これは女優の元田牧子さんの朗読と共に演じられるので楽しみにして頂きたい。

もうひとりの作曲家平野一郎は今まさに円熟期を迎えた人。最近では「鬼の生活」「鬼の学校」の二つの大作を書いて頂いた。特に「鬼の学校」は演奏に45分かかる大曲でありながら、飽きさせない新鮮なユーモア、生命感、ヴィジュアルな演劇性、更に言えば漫画的ともいえる各楽章に魅了され、全国で16公演が行われたくらいの大ヒット作となった。しかし今度は鬼とは別れ、琵琶、尺八、笙、胡弓、琴、打物などの邦楽器とピアノ(洋琴)が大きなヤポネシア空間で出会い調和するのか反発し合うのか溶け合いつつそれぞれが我が道をいくのか全く予測がつかない。いずれはヤポネシアに溶けこんでいくのであろうが、まだどうなるか分からないのである。洋琴を奏でる泉もまだ若い青年で先行き知らず、でも好奇心旺盛に活躍するのだ。

館野 泉



館野 泉 Izumi Tateno (ピアノ, Piano)

クラシック界のレジェンド。領域に捉われず、分野にこだわらず、常に新鮮な視点で演奏芸術の可能性を広げ、不動の地位を築いた。2002年に脳溢血で倒れ右半身不随となるも、しなやかにその運命を受けとめ、「左手のピアニスト」として活動を再開。尽きることのない情熱を、一層音楽の探求に傾け、独自のジャンルを切り開いた。“館野泉の左手”のために捧げられた作品は、10ヶ国の作曲家により、130曲に及ぶ。もはや「左手」のことわりなど必要ない、身体を超える境地に至った「真の巨匠」の風格は、揺るぎない信念とひたむきな姿がもたらす、最大の魅力である。館野 泉公式HP <https://www.izumi-tateno.com/>

◆福島公演◆ 11/2(土)南相馬市民文化会館 Tel.0244-25-2763

特別割引チケット

(ジャパン・アーツびあオンラインチケットおよびジャパン・アーツびあコールセンターで受付)

◎シニア・チケット=65歳以上の方はシニア料金でお求めいただけます。

全席指定 ¥6,000

◎学生券(¥3,300)は残席がある場合10月4日(金)10:00より受付を開始します。

◎車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。

必ず事前に御予約ください。(ジャパン・アーツびあコールセンターのみで受付)

X(旧Twitter)でフォローする  @japan_arts

次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ

- ① やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更になる場合がございます。
- ② 公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットの、キャンセル・変更等はできません。
- ③ いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。
- ④ 演奏中は入場できません。
- ⑤ 未就学児の同伴はご遠慮ください。また就学児以上のお子様もご入場には1人1枚チケットが必要です。
- ⑥ 全指定席です。指定の座席にてご鑑賞ください。
- ⑦ 場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。
- ⑧ ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。
- ⑨ 他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場頂く場合がございます。

奇跡のピアニスト 館野 泉



2022年にフィンランドで発売された館野泉の評伝。待望の日本語訳が2024年6月発売。幼少期から近年に至るまでの数々のエピソードに加え、館野泉と親交のある人物へのインタビューも収録。日本語版は館野泉氏本人による監修のもと、貴重な写真も追加掲載される。

サリ・ラウティオ 著
五十嵐 淳 訳
館野 泉 監修

ISBN 978-4-910731-02-5
定価: **3,300**円(税込)
発行: みずいろブックス 発売: 株式会社静風社